



公園内には、出土した土器や農具を紹介する展示館が設けられているほか、竪穴式住居が復元されており、内部はジオラマで古代の生活様式を再現している。また、草地の広場を設けて地域住民のコミュニケーションの場としたり、子供たちが楽しめるように竪穴式住居を模した遊具なども設け、植栽についても地層の花粉調査を基に、古代に自生していたシラカシやコナラを中心に配植している。

足立区の伊興地区では、縄文時代の終わりから古墳時代にかけて集落が形成されており、遺跡の発掘調査により住居跡や土器、農具などが出土している。「伊興遺跡公園」は、こうした地域の歴史を子供たちに紹介するとともに、出土品の展示を行い、当時のようすを学んでもらう公園として整備を行った。

DATA・BOARD ③⑧

- ① 東京都足立区東伊興町13-1
- ② 面積：2,716㎡
- ③ 竪穴式住居の復元、高床式住居の復元、祭司場の復元、ベンチ、展示・管理棟ほか
- ④ 木材、植栽ほか

